

やめようゾーン

ネットでの悪口 誰かが見ているよ!

●メールや掲示板の発信者はわかる
メールを集中して送りつける、掲示板で中傷する、個人情報や画像を掲載する。右のマンガの例のように、誰なのかばれないと思っても、実は送った人や書いた人は特定できる。悪意ある人を追跡することができる。○X 診断クイズQ2の答え: ○

●なぜ発信者がわかるのか?
パソコンにはそれぞれ違った「IPアドレス」が振られていて、携帯電話にはそれぞれ違った「個体識別番号」が振られている。その「IPアドレス」や「個体識別番号」とアクセス時刻などの記録があれば、発信者までさかのぼることができる。

●アドバイス
「自分がされてイヤなことはしない」、そういう相手のことを思いやる気持ちを忘れないようにしましょう。会話より文字はキツク感じるもの。言葉ひとつひとつを大事にすれば文章力アップにつながる。



●ネットの発言だって罪になる
姿が見えないからと言いつばしは通用しない。面白半分書きこみでも、多くの人が見るから立派な犯罪になるんだ。子どもが検挙される数も多く、未成年者でも逮捕されている。例えば、特定の個人に対する悪口や中傷は、「名誉毀損罪」や「侮辱罪」などの対象になる。

●男子中学生重体：プロフの掲示板に中傷書きこみ 2008年4月
男子中学生(14)が少年(17)に金属バットで殴られ重体。男子中学生がプロフに少年と同じ暴走族の格好をした自分の写真を載せたことをきっかけに、掲示板に「中3のガキに馬鹿にされた」などと約10人が20回以上にわたり、双方が中傷を繰り返し書きこみ暴力行為に発展した。



簡単に信じないで... 怖くて転送してしまうメール チェーンメール

●解説
メール本文に「1週間以内に20人に転送するように」と、転送させようとするのがチェーンメール。その他にも「転送しないと怖い人が家に行きます」「転送しないと料金を請求します」といった怖がらせる内容などもある。

●アドバイス
自分がもらって悩むようなメールは、友だちがもらっても同じように困るもの。メールをとめても誰にもわからない。替しくることも、パケット代金を請求されることもないので、チェーンメールはとめよう。自分でとめるのがイヤなら、チェーンメールの転送を受け付けている窓口もあるので利用しよう。

●撃退! チェーンメール 携帯サイト
<http://www.dekyo.or.jp/soudan/chain/mobile/>



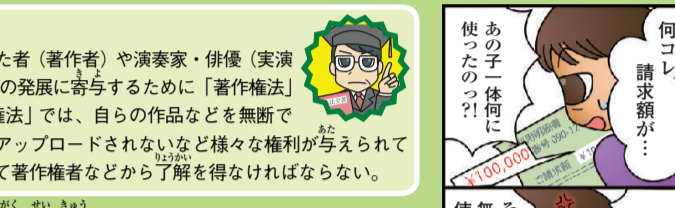
「無料」に注意ゾーン

違法ダウンロード

音楽・映像を勝手に配るのは法律違反
その音楽・映像をもらうのも法律違反だ

●解説
音楽や映像を作った人やその作品を発売するレコード会社などの許可を得ずに、作品を無断でインターネットにアップロード(ネット上におくこと)することは著作権法違反になり厳しい罰則の対象となる。さらに、個人的に鑑賞する目的であっても、違法に配信されている音楽・映像と知りながらダウンロードすることは、罰則はないが違法(著作権侵害)となる。(個人的な利用目的では無いダウンロードの場合は罰則がつかない)。音楽や映像を買うときにみんなが払うお金は、作品を創造する人たちが次の音楽や映像を作るために必要なものなんだ。違法配信など、音楽や映像が不正に利用されると、新しい作品、新しいアーティストも生まれなくなるんだ。音楽や映像を楽しみたいみんなにとっても、大きなマイナスになる。○X 診断クイズQ5の答え: ○

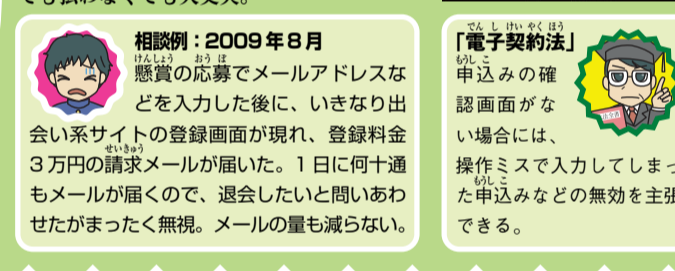
●アドバイス
みんなが安心して音楽・映像配信サイトを利用できるように、正式な方法で音楽や映像を配信するサイトを示す「エルマーク」のあるサイトを利用すれば安心だ。そして、何より、みんながルールを守っていくことが重要なんだよ。



「無料」のはずが高額請求、オンラインゲームや懸賞のトラブル

●ゲームサイト
「無料」とうたったゲームサイトにアクセスしたとたん、高額な請求をされる。「わかりやすい表示がされていないために、ゲームやアバターで使うアイテムが有料であることに気づかず、不用意にどんどん利用してしまう」といったトラブルがある。携帯電話会社からの請求がきたら拒否することが難しい。サイトを利用する際には、事前に表示や説明をよく読むようにしましょう。

●懸賞サイト、占いサイトでもトラブルが
個人情報を入力しただけなのに迷惑メールが届いたり、登録料金を請求されたりすることがある。メールは無視し続けるかメールアドレスを変更する対策を。お金の請求があっても払わなくても大丈夫。



見直しゾーン

ケータイ中心生活 勇気をもってメールをとめる宣言を!



●解説
文部科学省が2009年に公表した調査では、メールを1日30件以上送受信している中学2年生は、そうでない中学2年生より寝る時間が遅くなる傾向があり、携帯電話をよく使う子どもは、生活面への影響も見られると考えられる。○X 診断クイズQ7の答え: X

送受信回数	午後9時より前	午後9時~10時	午後10時~11時	午後11時~午前0時	午前0時以降	無回答
30件以上	4.2	21.1	47.9	25.1	1.8	0
30件未満	0.4	8.6	33.8	43.1	13.2	1.0
携帯電話を持っていない	1.2	9.5	35.9	41.3	10.4	1.8

●アドバイス
メールの返信を早くしないと友達に心配をかける、嫌われると思うかもしれない。「ここで終わり」の文句にたどりつくまでタイミングがわからず、延々とメールを送り続けてしまうかもしれない。でも、最初に誰かが勇気を持って宣言してしまえばいい。例えば

- 夜6時から7時は食事なのでケータイチェックはしません。
- 夜8時から10時は勉強や自分の好きなことをするので、すぐには返信をしません。
- 夜10時以降は電源を切っています。
- どうしてもすぐに返信できないこともあることをわかって! こうすることで、メールに振り回されることなく、相手もラクになるはず。メールに夢中になるときもあるかもしれないけど、宣言しておくだけでも全然違うはずだ。メールはいつでも送れるのだから、目の前に大事なことがあるときは、無理してすぐに返信しなくていい。大事なものは、機械に振り回されないことだ。

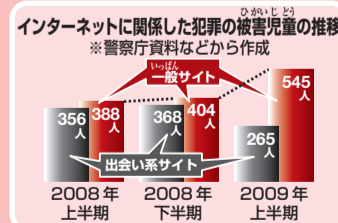
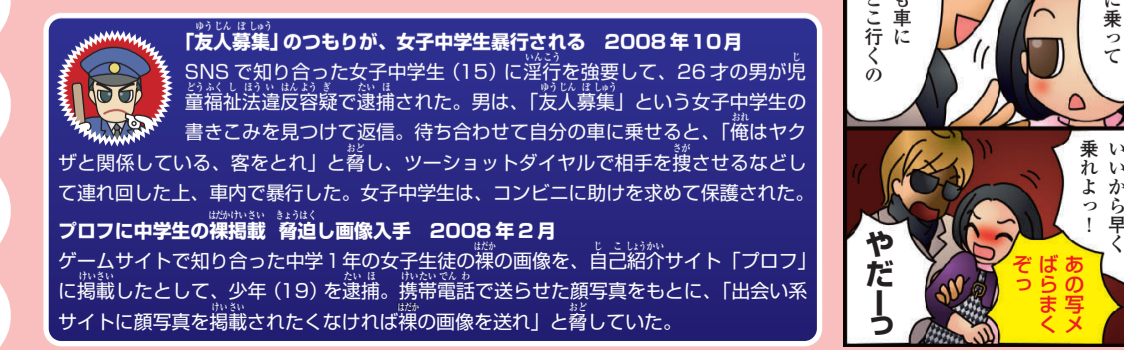
キケンゾーン

プロフ、ゲーム、メル友、ブログ かくれたワナ! 本当に友だちなの? コミュニティサイト

●解説
「同じ趣味を持った人が集うサイトなら、きっと気の合う友だちが見つかる。それに、怪しそうな出会い系サイトじゃないから安心」と思うのは落とし穴。相手は同世代の同性かと思っていたら、そうでなかったり、友達として付き合っているつもりで、名前や学校名を教えたと思ったら、暴行、誘拐、恐喝などの事件に巻き込まれたりするかもしれない。○X 診断クイズQ3の答え: X Q4の答え: X

●アドバイス
自分は絶対に大丈夫と思わないで。「自分の情報を教えること=危険なこと」そして「会うこと=もっと危険なこと」と思しましょう。はじめやさしいのは、相手の狙いだったりする。本当の顔が見えないケータイで素敵な出会いを求めないで。また、「お金をあげるから」と写真や私物を送らせる手口もある。特に顔がわかる写真は危険で、一度ネットに流れた写真は、あちこちに載せられたり加工されたりして、取り戻すことはほとんどできないんだ。

警察庁の調査によると、2008年に出会い系サイト以外のサイトで犯罪被害にあった18歳未満の子どもは792人で、出会い系サイトの724人より多い。出会い系サイト以外のサイトは、例えばSNS、プロフ、ゲームサイト。この数字を見てもわかる通り、犯罪者は子どもが使うサイトに忍び寄っているの、十分注意しよう。



●「友人募集」のつもりが、女子中学生暴行される 2008年10月
SNSで知り合った女子中学生(15)に淫行を強要して、26才の男が児童福祉法違反容疑で逮捕された。男は、「友人募集」という女子中学生の書きこみを見つけて返信。待ち合わせて自分の車に乗せると、「俺はヤクザと関係している、客をとれ」と脅し、ツーショットダイヤルで相手を探させるなどして連れ回した上、車内で暴行した。女子中学生は、コンビニに助けを求めて保護された。

●プロフに中学生の裸掲載 脅迫し画像入手 2008年2月
ゲームサイトで知り合った中学1年の女子生徒の裸の画像を、自己紹介サイト「プロフ」に掲載したとして、少年(19)を逮捕。携帯電話で送らせた顔写真をもとに、「出会い系サイトに顔写真を掲載されたくなければ裸の画像を送れ」と脅していた。